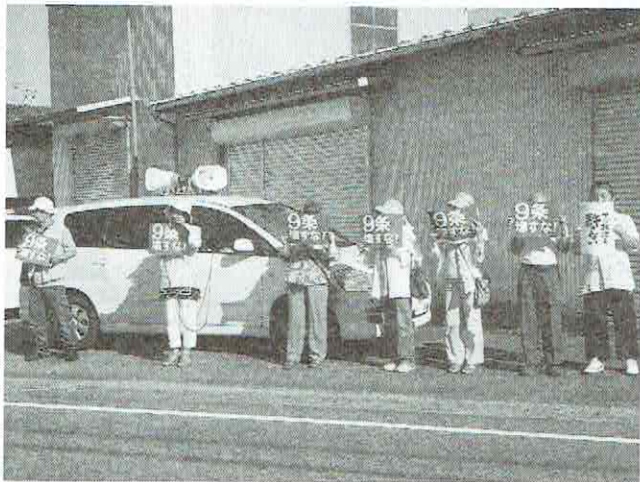


改憲、原発再稼働、TPP、社会保障改悪など 安倍暴走政治を止め、政治の転換を！ 日本共産党、鈴木議員平和とくらしへ全力



参院選後も「戦争法」廃止をめざし
毎月19日定例宣伝する実行委員会。
左から二人目が訴える鈴木議員

子どもたちを戦場に送る「戦争法」の廃止まで
私たちは絶対にあきらめない！

参院選挙で自公政権は、改憲や原発再稼働問題など日本の進路に関わる重大問題の本音はほとんど語らず争点隠しをしながら、結果として3分の2以上の議席を得ました。

しかし、憲法九条を無くして日本が戦争に突き進む改憲を国民が望んでいるのでしょうか。川内原発など深刻な危険がともなう原発再稼働の強行を国民がのぞんでいるのでしょうか。こうした議席の多数をタテに、平和とくらしを脅かす政治を絶対に認める事はできません。

「安保法制」（戦争法）廃止めざす神戸町実行委員会は毎月19日、バロー前で戦争法廃止への訴えを続けています。

医療・介護分野での改悪メニュー	
高齢者への負担増	75歳以上の窓口負担を2割に。自己負担の上限額引き上げ。介護保険の利用料を2割に
3割を超える負担に道	「かかりつけ医」以外に定額負担。先発医薬品に負担増
保険給付の縮小	要介護1・2の生活援助など保険外し。福祉用具貸与の自己負担。市販類似薬の保険外し
「地域差」をなくす	病床削減・在宅復帰を促進。一般病床に居住費導入。介護認定率縮小など

安倍さん！話が違うよ！
狙われる医療・介護大改悪

社会保障充実と言いつつ、選挙が終わったとたんに安倍内閣は左表のような医療・介護の大改悪を次々と政府の審議会に出し強行しようとしています。

日本共産党は安倍政治と対決し、社会保障の充実へ政府・県交渉や様々なたたかい、運動を展開し全力で頑張ります。



安保法制(戦争法)廃止へ期待集めた「野党共闘」が躍進 日本共産党は改選3議席から6議席へ躍進

神戸町の選挙結果

◎岐阜選挙区選挙

3年前～共産(鈴木)	1248票(14.3%)	自民(大野)	5123票(58.7%)
民主(吉田)	2199票(25.2%)		
計	3447票(39.5%)		
今回～小見山(共+民)	4043票(42.8%)	自民(渡辺)	5078票(53.7%)

◎比例代表選挙の日本共産党得票

3年前～	830票(9.4%)
今回～	1009票(10.8%)

得票で179票増、得票率で1.4%増

みなさんの「支援」に心から感謝です。

「戦争法の廃止」「立憲主義回復」を大義として全国32の一人区すべてで「野党共闘」が実現、11選挙区で勝利しました。岐阜県でも、左表のように共闘によって躍進しました。

日本共産党は比例代表でも貴重な前進となりました。引き続き頑張ります。

9月定例町議会報告 就学援助、住宅リフォーム問題で提案

鈴木愛子議員



神戸町9月定例町議会は、3日(土)～15日(木)の日程で開催されました。

一般質問には、飯沼、西脇、小川、宮嶋(健)、鈴木五氏が立ち、様々なまちづくりの課題で論議がおこなわれました。(上写真)一般質問に立つ鈴木議員)

6月議会報告は、参院選挙があったため、9月議会報告と併せてお知らせします。ご了承ください。

鈴木愛子議員の一般質問

①昨年7月から始まった「住宅改修助成事業」について
その実績と今後適用拡充の方向は？

②子どもの「就学援助制度」
制度の周知や支給時期の改善をすべき！

町長答弁 住宅改修助成の平成27年度の実績は、申請軒数33件で交付金額は657万円、内訳はバリアフリー化・省エネ化が28件など。

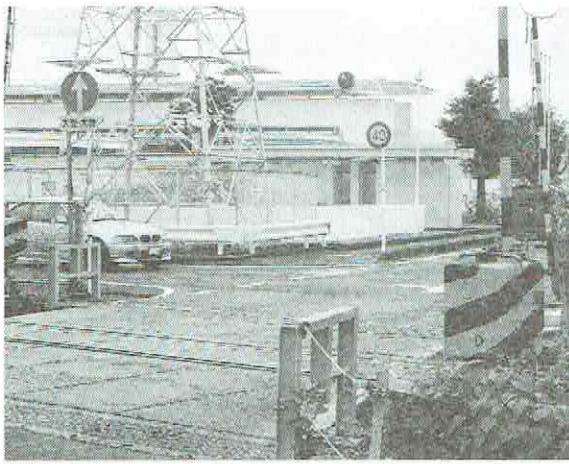
町民が快適に暮らせる居住環境整備で人口減を抑えることを期して創設、今後も現行どおり運用する。

教育長答弁 就学援助制度は経済的理由で就学が困難な児童生徒の保護者に必要経費の一部を援助する制度。当町ではホームページ、子育てガイドブックなどで周知をはかっている。その支給時期は援助が必要な時期に支給できるよう準備を進めている。

養老鉄道

存続へ「赤字解消」ビジョンが必要

北神戸駅近くにトイレが改修され開設



養老鉄道沿線3市4町は7月6日「養老線地域公共交通再生協議会」(法定協議会)を設立。来年3月を目途に、養老線が公共交通機関として安定した運営ができるよう必要な事業や計画を策定するとしており、その協議を注目するものです。

一方、この養老鉄道の存続は地域発展の命運をかけた課題であり、利用者拡大など地域住民総ぐるみで努力することも問われています。

過日、養老鉄道の存続を願う沿線の

市民が集まり、「養老鉄道の未来をつくるネットワーク西濃」がつくられ、講演会、提言など様々な活動を展開しており期待が寄せられています。

神戸町でも、図書館の敷地内で閉鎖されていたトイレが養老鉄道利用者も使えるよう、この度改修されました。

住民や池田高校に通う子どもたちなどから歓迎の声が聞かれます。

◎(上写真・踏切からすぐ北側)

6月議会での鈴木議員の一般質問

①「熊本地震」を教訓として
防災計画の見直し・強化を

鈴木議員は、熊本地震で役場などの崩壊で防災対策機能が失われたなどの深刻な事態をふまえてどうわが町に教訓化するか質問しました。

町長答弁 (熊本地震では)これまでの想定とは違った課題が顕在化した。情報の収集などの確に対応していく。

さらに、役場本庁舎をはじめ各教育施設を含む指定避難所において耐震基準を満たすなど万全を期しているが、今後あらゆる状況に対応できるように必要な訓練も検討する。



自民党の「改憲」草案を斬る!

憲法法学会習ひ会 のご案内

10月15日(土)午前10時

大塚市サイトピアセンター6階

講師 山本 妙 弁護士

国会報告 本村 伸子 衆議院議員

入場無料・お気軽にご参加を。

訂正 前号で「すくすくベビー券交付事業」を4月1日以降の誕生日に適用と紹介しましたが、1月1日にさかのぼっての適用でした。お詫びして訂正します。